

ちよつといし話

～ 水 無 月 ～

22年6月1日

お四国、空海大師様の靈場を天地の恵みを頂き、佛力加護もとの下、全行程を晴天理に巡錫し、満願成就させて頂きました。今しばらくは色々な花が咲き我々の眼を楽しませてくれますが、もうすぐ蒸し暑い夏が多くなります。健康に留意して下さい。今年も早、半年に成り、中間点に到達してしまいます。果たして年頭に掲げました目標の進展状況じょうきょうは如何でしょうか。目違めちがいを起こしていないか、再確認すると共に、目標達成の為に気合を入れ直しましょう。円は180度で半円、360度で円になります。一日を一度と置き換え、丸い円ができるように努力しましょう。

生命にとって、水ほど大切な物はございません。自然界の大自然の営みを忘れ、あたかも人間が世界を支配している様に錯覚さっかくしております。最近では水も自然のままでは使用出来にくくなってきました。水は時を経て地を下り、やがて雲になり、雨を降らせ地に恵みを与え樹木を育て清水を我々に与えてくれるのです。大きくなった樹木は伐採され生活のために使われます。しかし樹は植林をして、補充できますが、鉱物こうぶつにいたっては取りっぱなし、採掘しつ放しの状態が殆どです。人間は資源の殆どを加工変化させるだけであり、知恵があるように見せかけているだけで、実はたいした事はないのです。最近になってやっと資源の貴重さに気付き、リサイクルを提唱する様になりました。幼児期より人間は自然を破壊しながら生活をしている事を自覚させ、物を大切に扱うように教育を徹底させる必要があります。自己の要求が膨らむ事を佛は煩惱と名付け、悪の芽生えと位置づけています。煩惱は恐ろしく「自己を満足させる為には家族の犠牲も省みない、自分の要求を満たす為には手段を選ばない、自制できない人間」を構築し、堂々と生活をさせてしまうのであります。そして無駄、無益な事を多発させてしまうのです。佛様は悪行の第一に殺生罪を挙げ物あつか(者)の命を大切に扱う様に戒められたのです。勿論無駄な時間を過ごすのも殺生です。無益な殺生はやめさせましょう。悪行を止めさせ、善行はげに励む事を「止観しかんの行」と呼んでいます。人生経路にはその出会いに応じて決心し、英断を持って決断していかなくなくては成りません。時には即断、即決を求められる事も多々あります。もてる思考力、想像力、判断力を駆使しても時に下す決定が正しかったか、否かは暫く時を経なければ結果がでません。凶きようで無く吉きちに成ってほしい、其の為には**転ばぬ先の杖**が必要となります。この杖こそ「信仰」よに拠つちかって培つちかわれるのでしょうか。

善壽界 善入院油掛地藏尊